

# 日立市立助川中学校 令和3年12月1日(水)

活動場所：奥日立きららの里、日立シビックセンター  
参加者数：73名

## 【学年スローガン】

「Memories -最高の1日を仲間と共に-」

日程	体験活動名	活動内容
第1日	話し合いで謎を解け！ -グループ力No.1は、俺たちだ！-	・グループエンカウンター
	いいところ再発見！きららの里	・ウォークラリー
	プラネタリウム体験	・プラネタリウム
	先生たちからの挑戦状！ -担任の先生にキーワードを伝えよ！-	・科学館見学



【グループごとの目標・役割分担の様子】

## <成果>

- ・レクリエーションやウォークラリーでお互いに協力し合い、友達との絆を深めることができた。
- ・コミュニケーションに課題のある生徒や不登校傾向の生徒も校外活動に参加することができた。
- ・「仲間」を意識して生活することができ、事業前より級友に優しく接することができている。
- ・協調性が高まった生徒が増えてきた。
- ・各班のリーダーが自ら率先して動いていた。
- ・相手のいいところを積極的に見つけることができ、事業後にも級友のいいところを伝えていた。

## <生徒の感想>

- ・楽しかった！最高の思い出ができた！
- ・一人一人の声かけと自信をもって意見を言える人が増えたと思う。
- ・仲間と協力すれば、何事も成功したり、仲間のいいところがたくさん見つけられたりした。
- ・今まで話せていなかった人たちとも話をできて、自分から話しかけられるようになった。
- ・意見を言ったり、自分の役割に責任をもって取り組んだりして、自分に自信をもつことができた。
- ・リーダーをやってみて、周りを見ることができた。
- ・話し合って行動できたので、前よりも協力することができた。

## <保護者の感想>

- ・ウォークラリーで獲得した景品のことをうれしそうに話してくれました。
- ・無事に実施できてよかったです。プラネタリウムが楽しかったようです。
- ・クラスメイトと話すきっかけになり、以前より話す人が増えうれしそうでした。



【きららの里ウォークラリーの様子】



【日立シビックセンター科学館の様子】

## 日立市立平沢中学校 令和3年10月26日(火)～27日(水)

宿泊場所：奥日立きららの里  
活動場所：かみね動物園、奥日光きららの里  
参加者数：4名

### 【学年スローガン】

「みんなで仲良く宿泊学習～一生残る楽しい思い出にする～」

日程	体験活動名	活動内容
第1日	かみね動物園見学 木工制作 きららの里の探索  バーベキュー	・動物の見学 ・木材を使った昆虫づくり ・動物との触れあい アスレチックでの遊び ・夕食づくり
第2日	朝食づくり うどん打ち講習会	・ケビンで朝食づくり ・うどん打ちと試食



【動物について話し合う様子】

### <成果>

- ・全員で同じ体験をしたり、協力したりする中で、クラスとしての絆を深めることができた。
- ・役割分担して夕食づくりを行うことができ、責任感を高めることにつながった。
- ・集団活動が苦手な生徒も友達と協力しながら活発に活動することができた。
- ・相手を思いやって行動しようとする態度が身に付いた。
- ・率先して活動しようというリーダーシップを発揮している生徒が見られた。
- ・お互いのよいところを発見する場につながった。

### <生徒の感想>

- ・時間を見て行動することの大切さを学ぶことができた。
- ・友達にバーベキューの仕方を教えてもらった。新しい食べ方を発見したり、友達と試し合ったりすることが楽しかった。
- ・バーベキューの焼く順番を考えることが大変だったけど楽しかった。
- ・いろいろな景色が見られて楽しかった。
- ・わくわくスライダーが速くて長くて楽しかった。

### <保護者の感想>

- ・前に来たときはわくわくスライダーに乗れなかったのに、今日は楽しく乗ることができ、驚いています。宿泊学習がとっても楽しかったと話しています。
- ・バーベキューで積極的に野菜などを焼いていたようだが、なかなか焼き終わらなく大変だったと聞きました。
- ・うどんづくりで麺が太くなってしまったようでしたが、持ち帰ってきたうどんを食べたら、こしがあっておいしかった。



【食材購入の様子】



【うどんづくりの様子】

## 日立市立駒王中学校 令和3年10月14日（木）

活動場所：茨城県陶芸美術館、笠間市芸術の森公園・桧佐陶工房  
参加者数：94名

### 【学年スローガン】

「全員で協力し、ねらいを達成できる体験学習にしよう！」

日程	体験活動名	活動内容
第1日	芸術活動	・学芸員による講義、VTR ・陶芸作品鑑賞
	野外活動	・笠間芸術の森公園内班別ウォークラリー
	陶芸活動	・陶芸制作（手びねり）



【話し合いの様子】

### <成果>

- ・ウォークラリーでの班活動を通して、友だちの新たな一面を知り、人間関係を深める有意義な時間を過ごすことができた。
- ・茨城県陶芸美術館での学習や笠間焼の手びねり体験により、茨城県の伝統に触れ、郷土愛を深めることができた。
- ・学年生徒会で組織した実行委員が企画運営し、成功できたことで、生徒が中心となって自分たちの学年をつくっていかこうとする姿勢が見られるようになった。

### <生徒の感想>

- ・今までは、自分で発言することが少なかったけれど、自分から意見を言うことができるようになった。
- ・友だちの良いところをたくさん見つけることができた。
- ・集団で行動するには、みんなで協力し合って活動しなければならないということを学んだ。
- ・自然に囲まれて、とても気持ちよかった。茨城県の伝統工芸である笠間焼には魅力がたくさんあるので、次の世代に伝えられるようにしたい。

### <保護者の感想>

- ・天候にも恵まれ、コロナ禍で家庭では控えていた遠出をすることができ、また、友人と一緒に参加できたことは子どもたちにとって、とても大きな喜びになったと思います。
- ・陶芸体験では作品作りに苦戦したようですが、いろいろな形の作品ができたと楽しそうに話をしてくれました。
- ・ウォークラリーでは、友人との交流を通じてより絆を深めることができた様子でした。



【ウォークラリーの様子】



【陶芸制作の様子】

# 日立市立滑川中学校 令和3年5月27日(木)

活動場所：滑川中学校、日立シビックセンター科学館  
参加者数：88名

【学年スローガン】  
「仲間と共に 最高の思い出を作ろう」

日程	体験活動名	活動内容
午前	校内レクリエーション	・班対抗レクリエーション (なぞ解き&クイズ、体内時計、お箸で小豆運び、サイコロで運試し、計算ゲーム、玉入れなど)
午後	校外学習	・プラネタリウム鑑賞 ・科学館見学 (日立シビックセンター)



【科学館体験の様子】

## <成果>

- ・各クラスでの話し合い活動では、時間をかけながらお互いの意見を聞きながら決めていくことができた。
- ・班ごとの活動では、一人一人の得意・不得意を補い合い、認め合ったり協力して活動に取り組んだりすることができた。
- ・話し合いから活動、反省を通して、生徒同士が友達の新しい一面を見つけたり、助け合ったりする姿が見られ、集団のまとまりが増してきた。

## <生徒の感想>

- ・自分一人だけではなく、みんなで協力すればいろいろなことができ楽しくなることがわかった。
- ・本当はウォークラリーのはずだったけれど、レクリエーションでも皆で協力し楽しく終わることができてよかった。
- ・レクリエーションで今までに話したことがなかった人と話すことができるようになった。
- ・科学館では星座や月食について説明を聞いて、はやぶさ2についても学ぶことができてよかった。

## <保護者の感想>

- ・コロナ過の中で、実施できないかもしれないと思っていたが、みんなと楽しく体験できてよかった。
- ・みんなと何かを一緒に体験することがなかなか出来なかったが、今回体験することができ、とても楽しくうれしかったと話してくれた。
- ・科学館が新しくなり、巨大ジャングルジムや目の錯覚を使った展示物などがありとても楽しかったと話してくれた。



【校内レクリエーションの様子】



【科学館見学の様子】

# 日立市立多賀中学校 令和3年6月11日（金）

活動場所：日立シビックセンター科学館・天球劇場  
奥日立きららの里  
参加者数：110名

【学年スローガン】  
「Enjoy Together ～信頼と絆を深めよう～」

日程	体験活動名	活動内容
第1日	科学館	・展示物の鑑賞 ・科学実験・体験
	天球劇場	・天体観望 ・惑星探査機の学習
	ウォークラリー	・4コース、グループごとのウォークラリー



【話し合いの様子】

## <成果>

- ・生徒同士が積極的に話し合いを行い、準備や計画を進めることができた。
- ・科学館では、班長を中心に多くの生徒が係活動に責任をもち行動できていた。また、普段の学校生活でも意識している時間や集団行動に気を付け、お互いに声をかけ合って、素早い行動を心がけることができていた。
- ・天球劇場では、星座の紹介や惑星探査機の歴史を静かに聞き学習できた。
- ・コロナ対策として、バスの中ではしゃべらずに黙って過ごしたり、昼食時は、間隔を空けて座り黙食したりと、しっかり対策をして活動することができた。
- ・さまざまな活動を通して、学年や学級のいろいろな友達と交流し、お互いの良いところをたくさん発見することができた。また、一人も怪我や病気になることなく帰ってくることでよかった。

## <生徒の感想>

- ・実行委員として、科学館やウォークラリーだけでなく、雨が降ったときに何をするかなど、もしものことや先のことを考えて企画・運営することを学んだ。
- ・1日だけだったが、普段学校で意識している「あいさつ・時間・思いやり」の3つをしっかりと頭に入れ行動することができた。
- ・科学館では、どこに行きたいかをみんなが聞いてくれたり、時間を教えてくれたりと、いつも以上に思いやりをもって行動することができた。
- ・ウォークラリーでは、道に迷ったとき、その人を責めずに「大丈夫？」と声をかけ励ますなど、グループで信頼と絆を深めることができた。

## <保護者の感想>

- ・家に帰ってきてから、科学館やウォークラリーのエピソードを嬉しそうに話してくれました。
- ・コロナの影響で、また1つイベントがなくなってしまうか心配だったのですが、子どもの思い出に残る1日となったようで良かったです。
- ・違う小学校の生徒と交流を深めることができ、仲良くなれたみたいで嬉しく思います。

【科学館の様子】



【ウォークラリーの様子】



## 日立市立大久保中学校 令和3年12月8日(水)～9日(木)

宿泊場所：茨城県立白浜少年自然の家  
活動場所：茨城県立白浜少年自然の家施設内  
参加者数：119名

### 【学年スローガン】

「礼儀正しく、ルールを守り、最高に楽しい体験学習にしよう！」

日程	体験活動名	活動内容
第1日	レクリエーション	・インドアビンゴ ・ドッジボール ・しっぽ取り
	キャンドルファイヤー	・合唱コンクールリハーサル ・構成的グループエンカウンター
第2日	野外炊飯	・薪割り ・カレー作り



【話し合い活動の様子】

### <成果>

- ・クラスマッチや野外炊飯などの体験学習や共同生活の中で、友達のをさを発見したり、思いやりに触れたりするなど、協力して楽しく活動することができた。
- ・安全に気を付け、集団生活のきまりや社会生活上のルールを守ろうとする意識の涵養に役立った。
- ・生活班の係活動や体験学習を通して、普段の学校生活でも、自分の役割を自覚し、自ら進んで行動しようとする姿が多く見られるようになった。

### <生徒の感想>

- ・キャンドルファイヤーや野外炊飯などの普段できない経験をすることができて楽しかった。
- ・協力して体験活動をすることができて、入学した頃よりさらに絆が深まり、自分やみんなの成長を感じた。
- ・生活の中で周りを見て声をかけたり、友達と協力して一つのことに挑戦したりできた。新しい体験やいろいろな人と交流できてよかった。

### <保護者の感想>

- ・2回延期になったけど実施することができ、子どもたちが楽しそうに2日間の出来事を話してくれてよかった。
- ・たくさんの友達に声をかけてもらいながら、一緒に体験活動をできたことが嬉しかったようです。宿泊で行くことができてよかったです。
- ・集団生活が苦手な、行く前は行きたくないとも言っていたが、帰ってきたら集団生活への苦手意識が減って、子どもの成長を感じることができた。



【キャンドルファイヤーの様子】



【野外炊飯の様子】

# 日立市立河原子中学校 令和3年11月29日（月）

活動場所：常陸太田市西山研修所

参加者数：44名

## 【学年スローガン】

「進歩無限大～自然を味方にチャンスをつかめ～」(話し合い活動の充実)

日程	体験活動名	活動内容
第1日	飯盒炊飯・カレー作り	昼食づくり
	野外活動	ウォークラリー



【話し合い活動の様子】

## <成果>

- ・新型コロナウイルスの感染拡大により、実施直前に延期となったが、半年以上の延期にも関わらず、本来の目的である温かい人間関係の育成や友だちの良さを見つけるために、これまであまり話す機会がなかった他クラスとの交流も積極的に行い、目的を達成できた。
- ・実施に至るまでの話し合い活動では、学年生徒会が主体となってスローガンや約束事を決めたり各係で連絡事項を考え呼びかけを行ったりして、問題解決能力やより良い集団生活のために必要なことを考え、実行する力が高まった。
- ・自分の意見をきちんと伝えることや、周囲の様子を気にかけることの大切さを感じ、実施後も学校生活で実践する生徒が増えた。

## <生徒の感想>

- ・カレー作りやウォークラリーなど、仲間と協力し、助け合いながら行くと、より一層楽しくなっていくことが分かりました。
- ・1学期よりも仲間と協力し、周りの人を助けられるようになったと思う。自分一人ではできないことも、一人一人が意見を出し合うことで目的を達成できることを学びました。
- ・普段なかなか話せない他のクラスの人と話すことができ、友だちの良いところを感じることができました。
- ・「みんなと一緒に」という気持ちが一層強くなりました。これからもこのクラス、この学年のつながりを大切にしていきたいなと思いました。

## <保護者の感想>

- ・いつもあまり話さない息子が、楽しかったと話してくれて、親としても満足しています。
- ・コロナの影響でこのまま実施できないのかと思っていましたが、日帰りでも実施していただけて良かったです。
- ・河中ブログで楽しそうな表情が沢山見られて、とても嬉しい気持ちになりました。



【カレー作りの様子】



【ウォークラリーの様子】

## 日立市立泉丘中学校 令和3年11月9日(火)

活動場所：いばらきフラワーパーク、朝日里山学校  
クラス別企業訪問（神生バラ園、駒村清明堂、木内酒造八郷蒸留所）  
参加者数：184名

### 【学年スローガン】

「みんな楽しく仲間とともに 絆を深め これからの未来へ」

日程	体験活動名	活動内容
11/9	・各クラス 職業講話① 職業講話②  ・縄ない体験  ・企業見学	・講師4人の方から各クラス2人の講話を聞いた。（マーケティング、ベンチャー企業、まちづくり、地元興し） ・先人の知恵、生活の工夫を聞くと共に実際に縄ないを行った。 ・職場を見学し、仕事の内容ややりがい、苦労や工夫を聞いた。



【話し合い活動の様子】

### <成果>

- ・行事の目的を意識し、自分たちでルール作りをしたり約束を決めたりすることができた。
- ・天候の関係で活動内容が変更になり楽しみにしていた屋外での活動がなくなったが、臨機応変に活動することができた。また、自分の役割を責任をもって行う姿が随所で見られた。
- ・普段の生活ではなじみのない職種の職業人の話を聞き、多様な見方や考え方があることに気付くことができた。
- ・立地条件を生かし、伝統を守り、自然と共存しながら仕事に携わっている人々の話を聞き、来年度の職場体験へのイメージを広げた。
- ・最初はどうもいかなかった縄ないを、班のメンバーと助け合いながら完成させたり、できた縄で縄跳びをしたりして多くの友だちとコミュニケーションがとれるようになった。

### <生徒の感想>

- ・自分たちが主体となって計画を立てたり、自ら率先して行動できるようになったりした。
- ・どの行事も仲間と協力してやるのが大切だということがわかった。
- ・話の要点に気を付けながら聞く活動を通して、授業でも集中して友達や先生の話聞くことを心がけるようになった。
- ・縄ない体験で、できない人を放っておかず、声をかけあっている姿が、自分たちで成長したと思える点です。
- ・自分の知らない職業がたくさんあって、働いている人全てが目標を立て、目標に向かって頑張っていることがわかりました。私も将来の計画を立てていきたい。

### <保護者の感想>

- ・昨年度は行事がなくなりましたが、今年は学年の生徒と共に活動する機会がもててよかったと思います。
- ・縄ない体験では昔の人の知恵や工夫を知り、講師に指導していただき、協力しながら縄をなえたことなど満足げに話してくれました。できた縄を縄跳び用の縄として弟にプレゼントしていました。
- ・班長になって、仕事は大変だったけれど、しっかり責任を果たすことができたことを報告してくれました。



【企業訪問の様子】



【職業講話の様子】



【縄ない体験の様子】



# 日立市立台原中学校 令和3年6月8日(火)

宿泊場所：なし

活動場所：高鈴山ハイキングコース、日立シビックセンター

参加者数：33名

## 【スローガン】

「とき・めい・た」を意識して、自然と科学のまち日立を心で感じよう。

日程	体験活動名	活動内容
第1日	野外活動  科学館体験	・高鈴山ハイキング (向陽台駐車場⇄高鈴山頂上)  ・科学館見学 (日立シビックセンター)
第2日		



【話し合い活動の様子】

## <成果>

- ・スローガンを考える過程で、本校の目標である「とき・めい・た」を再度意識することができた。
- ・「時間を守る、迷惑をかけない、他人のために行動すること」を念頭において常に行動することができた。
- ・ハイキングリーダーを中心に声を掛け合ったり、励まし合ったりしながら、山頂を目指すことができた。
- ・学級委員が中心となり、話し合い活動を通して、クラスが一層まとまった。学級委員の自覚ある行動もあった。
- ・体験学習後の学校生活でも、「時間を守る、迷惑をかけない、他人のために行動すること」を実践している。

## <生徒の感想>

- ・高鈴山の頂上に着いた時の達成感がすごかった。
- ・科学館を見学して、「どういう仕組みなんだろう」、「どういうことなんだろう」と考えることができた。
- ・改めて、日立には自然がたくさんあることを知ることができた。この自然を守っていくことが大切であると思った。
- ・友達と準備をして、協力してハイキングをすることができて良かった。

## <保護者の感想>

- ・なかなか登山など経験する機会がないので、良い経験だったと思います。
- ・新しくなったシビックセンターが楽しかったと子どもが話してくれました。
- ・今年は、新型コロナウイルス感染症の影響で宿泊ができなかったが、宿泊もできると子どもも良い経験になると思います。



【高鈴山頂上の様子】



【シビックセンターでの活動の様子】

# 日立市立日高中学校 第1日：令和3年10月29日（金）、第2日：令和3年12月17日（金）

活動場所：第1日：国民宿舎「鶴の岬」、伊師浜海岸

：第2日：日立シビックセンター、アクアワールド大洗水族館

参加者数：第1日：113名

：第2日：116名

## 【学年スローガン】

「心をゆたかに、地域の環境を守り、思い出の1ページに花を咲かせよう！」

日程	体験活動名	活動内容
第1日	共同活動 地域再発見 地域再発見 職業人に学ぶ ボランティア レクリエーション	・歩く会 ・ウミウ捕獲場見学 ・国民宿舎「鶴の岬」見学 ・国民宿舎「鶴の岬」職員による講話 ・伊師浜海岸クリーン作戦 ・クラスマッチ
第2日	科学体験 生物分野学習	・科学館、プラネタリウム見学 ・アクアワールド大洗水族館見学



【話し合い活動の様子】

## ＜成果＞

- ・レクリエーションのチームや活動のグループ決めで、学級で相談しながらリーダーを中心に進めることができた。共同作業の経験を積むことができ、他の学校行事にも生かされていた。
- ・学年生徒会を中心に校外活動でのルールを決めて、みんなで守ることができた。
- ・あいさつや掃除などに一層積極的になった。特に周囲のことに気配りができる生徒が増えた。
- ・生徒同士、教師と生徒の良好な関係づくりに貢献し、お互いを知るよい機会となった。

## ＜生徒の実態＞

- ・往復9kmの道のりは不安だったが、みんな一緒だと楽しく歩くことができ、達成感を味わえた。
- ・学年レクリエーションが楽しかった。みんな夢中になってゲームに参加していた。
- ・国民宿舎「鶴の岬」の最上階からの眺望、ウミウ捕獲場見学を通して、日立市にも有名な場所があることが初めて分かった。
- ・海岸のゴミの多さに驚いた。少しでも地域の役に立ててよかった。
- ・初めて科学館に行った。体験施設がたくさんあって、あっという間に時間が過ぎた。
- ・友だちと行く水族館が楽しかった。理科の勉強にもなった。

## ＜保護者の感想＞

- ・学校行事が縮小される中、子どもたちの校外活動が実施できてよかった。
- ・鶴の岬が有名だということが分かったようでさらに調べていた。家族で宿泊したい。
- ・クラスマッチが盛り上がったようで、その様子をうれしそうに話してくれた。
- ・友だちと科学館や水族館に行けるので、楽しい思い出ができた。
- ・兄の時のように宿泊がなくても十分楽しめたし、新しい友だちを作ることができた。



【クリーン作戦の様子】



【クラスマッチの様子】

# 日立市立豊浦中学校

令和3年5月14日(金)

活動場所：たかはら自然体験交流施設、十王パノラマ公園

参加者数：80名

## 【学年スローガン】

「歩くの大好き！ 行ってきます！」

～ 互いに励まし合って ～ 」 (互いに認め合い、高め合う集団を目指す)

日程	体験活動名	活動内容
午前	・ 出発式 ・ 歩く会	・ 決意表明 ・ 十王川上流へ向けて散策
午後	・ 絆作り ・ 歩く会 ・ 解散式	・ 学級レクリエーション ・ 学校への帰路 ・ 互いの頑張りを認め合う



【事前の話合い活動の様子】

## 〈成果〉

- ・ 事前の話合い活動では、日立市の地図をよく読み込み、気付いたことを意見交換した。これらの活動を通して、地域のことに目を向けたり、学校を基準に1日にどこまで歩いていけるかを考えたりするなど、地域の一員としての意識が高まった。
- ・ 往復約20kmの道のりを、互いに励まし合って歩ききることで、集団で目標を達成することの喜びや意義を感じることができた。

## 〈生徒の感想〉

- ・ 歩く距離が長くて、大変なときもあったけど、みんなで励ましあいながら、最後まで歩いてよかった。
- ・ みんなで声をかけながら、全員が最後まで歩くことができてよかった。
- ・ クラスの絆が深まった。

## 〈保護者の感想〉

- ・ 無事に最後まで歩くことができるか心配な部分はありませんでしたが、家に戻ってから子供がいきいきとした顔で、楽しかったと話してくれてよかったです。
- ・ 子供が友達と楽しくお弁当を食べたり、レクリエーションができたことを話してくれて、親としても、思い出に残る体験活動でよかったなと思いました。



【歩く会の様子】



【学級レクリエーション後の様子】

# 日立市立久慈中学校 令和3年6月4日（金）

活動場所：久慈中学校体育館  
日立シビックセンター  
参加者数：86名

日程	体験活動名	活動内容
第1日	クラスマッチ	・ドッジボール ・尻尾取り鬼ごっこ ・お絵かきリレー ・クイズ大会
	科学館体験	・サクリエ、展示品体験
	プラネタリウム鑑賞	・「はやぶさ」re-born



【実行委員がレクを進める様子】

## <成果>

- ・事後アンケートでは「クラスの絆が深まった」「今までよりも交友関係が広がった」「友達の意外な（優しい）一面に気付くことができた」など、人間関係をよりよくできた、という意見が多く上がり、実際に話し合い活動も事前よりも活発・積極的になってきた。
- ・クラスマッチでは勝敗に関する微妙な判定があっても、不満を言ったり、誰かを責めたりする生徒は全くいなかった。フェアな態度をとっていたことを、後日学年集会で賞賛した。
- ・実行委員（学年委員）が中心となってクラスマッチを運営することができた。実施後は「学年を動かしていく」充実感、楽しさを知り、今後さらにリーダーとして行動していこうとする自覚が高まった。
- ・集団での行動を伴うときに、自律的に行動し、指示がなくても学級委員を中心に集合し、話を聞ける姿勢が見られるようになった。

## <生徒の感想>

- ・学級委員がみんなのために活動してくれているのがとてもよく分かった。
- ・他の組の人とも交流ができ、いろいろな人と仲良くしたり励まし合ったりするのが楽しかった。
- ・みんなで話し合っ、どうすればもっと良くなるか話し合っていたのが良かった。協力することの大切さを知った。
- ・ひとりひとりが全力でクラスの応援をされていて、絆やまとまりを感じることができた。
- ・友達の新しい一面も分かり、前よりもよく話すようになった。
- ・新しくなった科学館で、いろいろな科学の見方に触れることができた。
- ・「はやぶさ2」を扱った映像がリアルで驚いた。

## <保護者の感想>

- ・クラスマッチを通して、新しい友達ができたとうれしそうに話してくれました。
- ・宿泊ができなかったのは残念でしたが、現状では仕方のないことかな、と思います。その分、先生方や実行委員の生徒の皆さんがアイデアを出してくれたようで、良かったです。
- ・新しくなった科学館やプラネタリウムなど、なかなか連れて行ってあげる機会がないので、よかったですかと思いました。
- ・天気が悪く、当初計画していた登山ができなくなってしまいましたが、早めに中止の連絡をメールでいただき、対応しやすかった。
- ・中学校に入って、不安の多い一学期に行えるのはよいことだと思う。できることなら宿泊をした方が効果は高いのではないかと。



【科学館で展示物を体験する様子】



【描いた「お題」を当ててもらうレクの様子】

## 日上市立坂本中学校 令和3年11月26日(金)

活動場所：夢ひたちファーム中里、西山研修所

参加者数：13名

【学年スローガン】

「自然を学び、絆を深め、安全に楽しもう」

日程	体験活動名	活動内容
26日	・農業体験 ・エコバックづくり ・動物探し体験	・じゃがいもの収穫 ・玉葱の植え付け ・バックに好きなデザインを描きアクリル絵の具で描く ・スタンプラリー



【学級活動での話合いの様子】

### <成果>

- ・学級委員が実行委員として活動を計画したり、クラスの話合いの中心となったりと、リーダーとして主体的に取り組んだ。
- ・一人一人が自分の行動に責任をもち、班活動を主体的に進めることができた。
- ・農業体験（じゃがいもの収穫・玉葱の植え付け）を行うことによって、食事や生産者に対する感謝の気持ちが生まれた。
- ・家庭科の授業と関連を図ったことにより、地産地消の良さについて体験を通して理解が深まった。

### <生徒の感想>

- ・体験学習を通して、協力することや自分の仕事に責任をもって取り組むことの大切さを学びました。
- ・農業体験では、初めて玉葱の植え付けやじゃがいもの収穫をすることができました。農業は大変な仕事だと改めて実感することができました。これからは、もっと食材に感謝をしながら食べようと思いました。
- ・農業をやったことがなかったので、初めての経験で分からないこともありましたが、とても楽しく体験ができました。玉葱を植え付ける際は、どのくらいの深さまで植えるのか、根をしっかりと入れるにはどのようにすればいいのかなどが難しかったです。とても勉強になりました。

### <保護者の感想>

- ・普段当たり前前に食卓に並んでいる野菜などは、生産者さんの日々の苦勞と努力、そして、私たち消費者に、安全安心な物を届けたいという思いが込められているのだと気付いたようです。
- ・普段体験できないことができて、子どもたちも楽しく良い経験になったと思います。また、機会があれば他にもいろいろな体験などができればと思います。
- ・コロナ禍で、宿泊はかなわなかったものの、日常を離れた貴重な体験ができて、新たな発見があったようです。ご協力してくださった、地域や施設の方々、陰で準備し支えてくださった先生方に感謝いたします。
- ・体験を通して自然に触れたり、環境について考えたりすることによって、より視野が広がり深い学びをすることができたようです。今回の経験をこれまでの学習やこれからの学習に結びつけていってもらいたいと思います。



【農業体験の様子】



【エコバック作り】

# 日立市立中里中学校 令和3年7月7日(水)

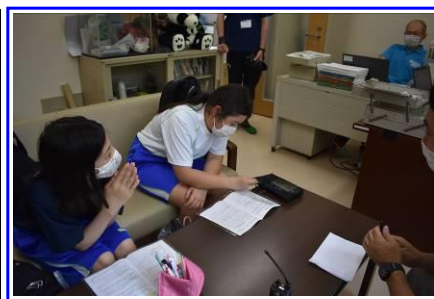
活動場所：かみね動物園、日立シビックセンター

参加者数：2名

## 【学年スローガン】

「仲間のいいところを見つけよう！！ ～ケガなく、仲良く、楽しく～」

日程	体験活動名	活動内容
第1日	飼育体験	・動物たちの世話、園舎の清掃 (かみね動物園内)
	質疑応答	・動物園スタッフに質問 (かみね動物園事務所)
	科学体験	・科学館見学、天球劇場鑑賞 (日立シビックセンター)



【話し合い活動の様子】

## <成果>

- ・少人数の利点を生かし、普段なかなか出来ない貴重な飼育体験をすることができた。
- ・飼育体験や動物園スタッフに質問をする活動の中で他者とのかかわることで、【気づき、読み取る力】を高めることができた。
- ・学校の文化祭では、特別活動推進事業の成果を、上級生や保護者の方々にスライドを用いて発表し、【考え、伝える力】を身に付けることができた。

## <生徒の感想>

- ・クラスの友人と同じ体験をして、文化祭の発表準備をしていくことで、友達関係がよくなった。
- ・動物園での飼育体験をとおして、動物たちへの接し方を学ぶことができてよかった。
- ・「環境エンリッチメント」(動物福祉の観点から、飼育下における動物が心身ともに健康で暮らせるよう、飼育環境を整備すること)への理解が深まった。
- ・飼育員の真剣な姿から、自分も真剣な気持ちで続けられる職業を選びたいという思いが強くなり、自分にあった職業を探そうと考えるきっかけとなった。

## <保護者の感想>

- ・ゾウの体をキレイにしたこと、はちゅうるい館でカメに触れたことなどを、うれしそうに話してくれた。
- ・特別活動推進事業での体験を、澄水祭(文化祭)で大勢の人の前で、わかりやすくはきはきと発表できていた。本人の自信にもつながり、よい機会になった。



【飼育体験の様子】



【飼育体験の様子】

# 日立市立十王中学校 3月16日(水)

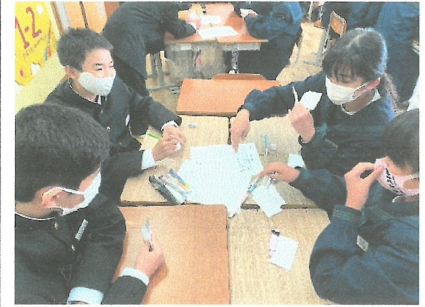
活動場所：笠間焼窯元、アクアワールド大洗水族館

参加人数：137名

## 【学年スローガン】

「友達のよいところ発見！！」～見て・ふれて・感じて～

日 程	体験活動名	活 動 内 容
3月16日 (水)	物づくり体験  班別活動	・笠間焼見学 ・笠間焼手ひねり (笠間焼大津晃窯)  ・海洋生物観察 ・古代海洋生物標本見学 ・イルカ・アシカオーシャンライブ見学 (アクアワールド大洗水族館)



【話し合い活動】

## <成果>

- ・友達の意見を尊重し合い、目標に向かって計画し、実行することができた。
- ・様々な体験活動を通して、学級の団結力を高めるよい機会になった。
- ・みんなで声をかけ合うことが多くなり、自分たちで考えて行動することができるようになった。

## <生徒の感想>

- ・笠間焼は、小学校の時に経験をしていたけれど、作品づくりを楽しむことができた。
- ・海洋生物は、何回見ても不思議がありすぎて観察するのが楽しかった。
- ・友達のよいところを見つけたりみんなで声をかけ合って行動したりすることができた。
- ・コロナの感染拡大の影響で行事ができないと思っていたけれど、学年・学級で行事ができて本当に嬉しかった。

## <保護者の感想>

- ・楽しそうに話す会話から、自分の役割を果たし充実した活動ができたのだと感じました。
- ・コロナ禍にあって行事が縮小される中、心配はあったけれど実施できたことは子どもたちにとってよい思い出になったと思います。



【手ひねり体験の様子】



【海洋生物を観察している様子】



【生物標本見学】

## 日立市立日立特別支援学校 令和3年11月18日(木)～19日(金)

宿泊場所：たかはら自然塾

活動場所：たかはら自然塾、十王パノラマ公園

参加者数： 6名

### 【学年スローガン】

「たすけあい！ きょうりよく！」

日程	体験活動名	活動内容
第1日	竹工作体験 ダンボールクラフト	・ガリガリとんぼ 竹とんぼ作り ・ダンボールの椅子作り
第2日	レクレーション 鉛筆立て作り	・だるまさんがころんだ、逃走中 ・鉛筆立ての木エクラフト



【係活動練習の様子】

### <成果>

- ・事前学習で、しおりをまとめたり、係活動の練習やシミュレーションを行ったり、簡易の竹とんぼ作りや竹とんぼ飛ばし練習をしたりしたことで、自分の役割や担当、すべきことが分かり、見通しをもつことができました。
- ・事前学習で「協力が大事！」とスローガンを繰り返していたので、係活動では「協力！」「協力！」と友達同士で声を掛け合い、力を合わせて活動する姿が見られた。
- ・自分の役割に責任をもって取り組んだり、身の回りのことはできるだけ自分で行ったりすることができた。
- ・部屋に入るときにノックをして「失礼します。」と挨拶することが分かり、学校でも他の教室に入る際に自ら挨拶できるようになった。
- ・「がんばればできる。」と自信をもった様子で、学習に意欲をもつようになってきた。

### <生徒の感想>

- ・たかはら自然塾にあった薫の家が気に入った。ダンボールクラフトが楽しかった。
- ・先生や友達とお風呂に入ったり、ご飯を食べたり、泊まったりしたことが楽しかった。
- ・竹とんぼの名人に教えてもらえてうれしかった。自分で作った竹とんぼを飛ばせて楽しかった。
- ・ダンボールの椅子や竹とんぼを作って、いい思い出ができた。

### <保護者の感想>

- ・宿泊学習で様々な体験をし、周り協力して過ごすことを学ぶことができ、良い体験になりました。
- ・なかなか親から離れて泊まることはないもので心配もありました。でも、宿泊学習の様子を知ってとても楽しく過ごせていたようで安心しました。
- ・コロナ禍で何かと制限されるなか、宿泊学習に行くことができよかったです。子供も参加できたことで達成感をもてたようで少し成長したと思いました。子供にとってよい思い出ができました。



【竹工作体験の様子】



【ダンボールクラフトの様子】